



こもれびの森の樹木(33)

ツタ (ブドウ科ツタ属) 別名ナツツタ

真夏の森、樹々は葉を生い茂らせ光合成に一生懸命です。万緑の森の姿を一層際立たせるのは樹木に絡みついているツル植物です。自分の力だけでは空高く生い茂ることはできませんが、高木を這い上がることによって高みに届き光を獲得することができます。どれも同じように見えるツル植物も、よく見ると面白いことがわかります。ツタが樹皮にとりついていますが、アマガエルの指のように吸盤を持っています。この吸盤のおかげでツタはコンクリートや煉瓦の壁にも張り付くことができます。「♪ 蔦の絡まるチャペルに・・・」の歌はツタの吸盤あってこそ生まれたのです。吸盤は葉に対生して出ていますが、2回続けて出ると3回目は休みます。そしてまた2回出て3回目に休みます。ワルツのリズムみたいですね。また、若い時には吸盤ですが、のちには気根で這い登るので両方が混在していることがあります。花は6月頃に咲きます。夏には若い実になって、その姿は小さなブドウのようです。ツタの葉は秋に美しく紅葉し、冬には落葉します。ところで、こもれびの森の中で多数を誇るのはキヅタ (ウコギ科キヅタ属 別名フユツタ) です。こちらは吸盤がなく気根を樹皮にくいこませて這い上がります。ツタとキヅタ。森の中には他にも多くのツル植物が自生しています。立ち止まって観察すると楽しいです。(鳥飼)



に吸盤を持っています。この吸盤のおかげでツタはコンクリートや煉瓦の壁にも張り付くことができます。「♪ 蔦の絡まるチャペルに・・・」の歌はツタの吸盤あってこそ生まれたのです。吸盤は葉に対生して出ていますが、2回続けて出ると3回目は休みます。そしてまた2回出て3回目に休みます。ワルツのリズムみたいですね。また、若い時には吸盤ですが、のちには気根で這い登るので両方が混在していることがあります。花は6月頃に咲きます。

夏には若い実になって、その姿は小さなブドウのようです。ツタの葉は秋に

美しく紅葉し、冬には落葉します。ところで、こもれびの森の中で多数を誇るのはキヅタ (ウコギ科キヅタ属 別名フユツタ) です。こちらは吸盤がなく気根を樹皮にくいこませて這い上がります。ツタとキヅタ。森の中には他にも多くのツル植物が自生しています。立ち止まって観察すると楽しいです。(鳥飼)



用水路沿いの植物

じりじりと日ざしが強く夏本番ですね。熱中症に気をつけましょう。今回の植物はアメリカフウロ・ケキツネノボタンを掲載します。キツネノボタンにはケキツネノボタンとキツネノボタンがあり、見分けは非常に難しく区別がつけにくい野草です。(田崎)



アメリカフウロ(亜米利加風露)

- ・フウロソウ科・北アメリカ原産の1年草です。現在は全国の道端などでよく見かけます。
 - ・丈は10~30 cm・花期5~7月
 - ・葉は切込みが深く3裂から5裂、葉や葉柄・茎には赤みを帯びることが多い。
- 秋に芽生え春から夏までに小さな花を咲かせ、花は紅紫色から白色まで異変がある。

ゲンノショウコに似ていて間違いやすい。フ

ウロソウ科の花や葉は似かよってよく観察しないと間違いやすい。



ケキツネノボタン(毛狐の牡丹)

- ・キンポウゲ科。丈は20～80 cm 花期4～7月・
生育地—本州・四国・九州 湿気を好むので田んぼの
土手や休耕田に多い。
- ・ケキツネノボタンの果実は金平糖(コンペイトウ)のよ
うな形をしています、果実の先端の尖っている部分が真
っ直ぐ立つのが特徴です。
- 茎・葉には立った毛が多く見られる。
- 茎・葉とも毛が多く葉は牡丹の葉の形に似ているところ
からつけられた名前のようにです。

・キツネノボタンの果実(金平糖)は尖った部分は曲がり、茎にはほとんど毛がない。

木もれびの森の虫たち

今年も暑いでしょうか。夏到来です。毎年ジュニアボランティア講座でセミの羽化観察をおこなっていますが、いつもその一生懸命な、けな気な姿に感動しています。そこで今回はセミについての雑知識です。(海野)

- ・オスとメスの割合は1:1くらい。 ・オスは複数回交尾が可能でメスは1回。 ・鳴くのはオスだけ。
- ・1頭のメスは枯れ木に300～600の卵を産卵し一生を終える。
- ・枯れ枝から落下した1齢幼虫は地中にもぐり、導管を流れる水溶液をエサに育つ。(栄養が少ないため育つのに時間がかかる)
- ・4回脱皮し5齢幼虫になると、周囲が暗くなる夕方に地上に現れ、足場を見つけて静止し脱皮して成虫となる。
- ・セミの寿命はよく1週間といいますが、2～3週間と思われる。飼育では1ヶ月生きた記録がある。
- ・日本のセミは33種類で本州には16種類のセミがいる。

最大:ヤエヤマクマゼミ5.5cm、最小:イワサキクサゼミ1.5cm、世界最大:マレーシアのテイオウゼミ7cm。

7月～8月撮影 活動地、中央緑地



セミの羽化

アブラゼミ

ミンミンゼミ



ショウリョウバッタ

コオロギ

トビナナフシ

ハナアブ

コクワガタ



樹液に集まる虫たち

ミスジマイマイ

ウスキホシテントウ

ナミテントウ

イボバッタ